

SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

2017.4.5 (No.2907)
週報 No. 34

基本を学び、地域と共に

第2560地区ガバナー／田中政春
会 長／川瀬康裕
会長エレクト／小出子恵出(クラブ奉仕A)
副 会 長／松永一義(クラブ奉仕B)
幹 事／関川 博
S A A 明田川賢一
会 計／浅野金治

例会日／毎週水曜日 12:30～
例会場及び事務局／
三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
例会場／TEL 34-3311
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail : sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
(～はshiftを押しながら“へ”のキーを
押してください)

- 本日の出席会員数:57名中45名
- 先々週出席率:89.09%

【ヴィジター】

- ・矢吹信太郎さん
(加賀美さんの後任で入会予定です。)

【先週のメイクアップ】

- [3.30] 三条東RCへ
- ・加藤紋次郎さん、石橋育於さん、
 - ・中村和彦さん、丸山行彦さん、
 - ・木村文夫さん、伊藤寛一さん、
 - ・斎藤弘文さん (7名)
- [3.31] 吉田RCへ
- ・川瀬康裕さん



人類に
奉仕する
ロータリー

2016～2017年度国際ロータリーのテーマ



会長挨拶

「ロータリー学友世界奉仕賞」

川瀬康裕 会長



今日は石黒良行会員卓話を楽しみにしております。

いよいよ60周年記念式典が来週に迫ってまいりました。会の継続に感謝し発展を祈念する祝いの会です。私も会長としてこの会に思いを込めさせていただきました。あとは山田実行委員長はじめ各委員長の指示に従い全力でお役目を果たさせていただきます。

皆様も全員お役目がありますのでみんなで力を合わせて式典を成功させましょう。

昨年末のロータリー財団100周年記念シンポジウムで、元国連難民高等弁務官の緒方貞子氏に、2016-17年度ロータリー学友世界奉仕賞が贈られました。外交官の家族に生まれた緒方氏は、第二次世界大戦後、国際関係に関心を抱き、米国ワシントンD.C.のジョージタウン大学大学院へ留学。1951年、日本人として2人目のロータリー国際親善奨学生となりました。ロータリー奨学生として留学中、社会奉仕の重要性を学んだだけでなく、ロータリアンの方々との交流を通じて、見識を広げ、さまざまな経験ができた、と緒方氏は振り返ります。「『超我の奉仕』というロータリーのモットーに深い感銘を受け、以来、これが私の人生の指針となってきました」と語っておられます。

国連のグテレス事務総長は3月29日、中満(なかもつ)泉・危機対応局長(53)を次期軍縮担当国連事務次長に任命すると発表しました。事務次長は事務総長、副事務総長に次ぐポストで、国連本部で働く日本人女性職員の中では最高位となります。日本から二人目の奨学生の緒方氏が留学したジョージタウン大学で、後輩の国際親善奨学生として学んだ中満氏が、国連における軍縮担当のトップに任命され、学友の世界貢献のバトンが引き継がれました。すべてがロータリー財団100周年の年に起こったことも、不思議なご縁です。

ニューズウィーク誌とNYtimesの3月号に相次いで世界のポピュリスト政治家や、ポピュリストについての解説が載りました。トランプ、ルペン、ドゥテルテがみな同じピュリストといえるのかよくわかりませんが、ポピュリストとは「うまい汁を吸っているエリートに対し抑圧されている大衆の代表を名乗る政治家」のことを指すようです。

右派も左派もいますがポピュリストの本質は「本物の大衆の団結のみが重要であり、他の人間はどうでもいい」自分はその大衆の代弁者であり、異論は許さない、アメリカファーストというものです。ロータリーの中核価値観のひとつに多様性がありますが、多様性とは多様な職業のみでなく、人種、性別などに偏見を持たず世界で良いことをしようという理念が皆の共感を得たからだと思います。国際ロータリー細則第4条の70に、会員身分の制約としていかなるクラブも定款等で性別、人種、皮膚の色、信条、国籍または性的指向に基づいて会員身分を制限することはできないと明文化されています。

幹事報告

関川 博 幹事

◎田中ガバナー事務所より

「ガバナー月信4月号発行のお知らせ」

◎本日「会員満足度アンケート」を配布しました。

回答済みのアンケート用紙は、受付の回収BOXに入れてください。

ニコニコBOX

川瀬康裕会長

創立60周年記念式典がいよいよ来週にせまりました。力をあわせて成功させましょう。

関川 博さん

いよいよ60周年記念式典が来週となりました。みなさんよろしくお祈りします。

石黒会員の卓話楽しみです。

本日入会の相場弘介さん、入会歓迎します。

山田富義さん

まもなく60周年式典です。皆様宜しくお祈りします。

石黒会員、卓話ありがとうございます。

杉山幸英さん

あと9日で60周年記念式典です。皆様の御協力をよろしく御願ひ致します。

石黒会員、卓話有難う御座居ます。

丸山行彦さん

石黒良行さん、卓話ご苦労様です。お話楽しみです。

60周年が間近になりました。

五十嵐晋三さん

60周年までわづかになりました。本番に強い三条クラブです。頑張りましょう。

石黒さん、卓話ごくろうさまです。

渋谷健一さん

石黒会員、卓話ありがとうございます。

梨本次郎さん

本日の石黒良行君の卓話を楽しみにしております。

また、本日から入会の相場弘介君、入会おめでとうございます！

斎藤弘文さん

我が社も新入社員を迎えて新しい事業年度がスタートいたしました。

樺山 仁さん

いよいよ春めいて来ました。桜の開花すぐそこです。

本日の石黒さんの卓話に期待して！

明田川賢一さん

カゼでノドを痛めました。お聞き苦しいSAAですが、ご容赦下さい。

熊倉昌平さん

石黒良行さんの卓話を楽しみにしております。ご活躍をお祈り致します。

渡辺勝利さん

すっかり良い季節となりました。

今日は石黒会員、卓話ありがとうございます。

西山徳芳さん

周年事業に。

衛藤泰男さん

本日もよろしくお願ひします。

石黒さん、卓話楽しみです。

中條克俊さん

来週60周年記念式典では会員の皆さんと協力してゲストをおもてなしたいと思ひます。

石黒さん、卓話楽しみにしてひます。がんばって!!

菊池 渉さん

先週は小出さんのPETS報告を聞かずに、家内と(まちがいなく家内と)箱根に行ってきました。

宮本信秋さん

石黒会員、卓話ありがとうございます。

すみません、本日中座させていただきます。

五十嵐昭一さん、松永一義さん、中村信一さん、石橋育於さん、歸山 肇さん、金子俊郎さん、小越憲泰さん、高橋 司さん、五十嵐博宣さん、浅野金治さん、若槻八十彦さん、木村文夫さん、船越良則さん、江部卓城さん、吉井直樹さん、柳取崇之さん

石黒良行会員、本日は卓話ありがとうございます。お話し楽しみにしてひます。

4月5日分 ¥ 76,000
今年度累計 ¥ 1,762,000

「卓話」

石黒良行 会員

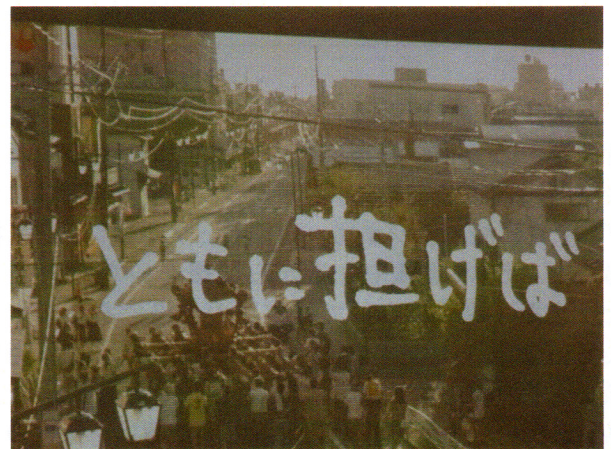


本日は、私が2年前に燕三条青年会議所の理事長を務めた際に、映画「ともに担げば」を制作した、市民の翼事業についてお話しさせていただきます。よろしくお願ひ致します。

まずは、市民の翼事業にご協賛いただきました皆様、ご支援いただき、感謝申し上げます。また、三条ロータリークラブさんからも後援いただきました。ありがとうございました。

・市民の翼事業

少子高齢化と若者の流出により、人口減少が問題となる中、人が減り続ける社会だからこそ、市民一人ひとりが手を取り合い、共にまちをつくっていく、協働のまちづくりを推進しなければならないのだと考えます。市民一人の大きな一歩より、100人の小さな一歩が、大きな力となるのではないのでしょうか。手を取り合い、一歩踏み出して、共にまちをつくっていく大切さに気づいてもらう手法として、映画の制作と発信することをいたしました。



・監督

鶴岡慧子(つるおかけいこ)さん、年齢は撮影当時27歳でした。

世界最大級の自主映画コンペティション「PFF(ぴあフィルムフェスティバル)アワード」において522作品の頂点となるグランプリに加え、ジュエストーン賞(日活賞)の2冠を獲得。若手映画監督の中で最も注目されている監督の一人です。

・スケジュール

2014年の11月から動きだし、2015年の10月までに完成させて発表する。

そのようなスケジュールで制作しました。

< 新会員紹介 >



氏名 相場 弘介
会社名 あいせき株式会社
役職名 代表取締役
住所 燕市八王寺2552番地
家族構成 妻、三女
趣味 ゴルフ

・映画制作 記者会見

市民の力で映画を制作するという記者会見です。協働のまちづくりの推進ですので、青年会議所が青年会議所だけの力で制作する、独りよがりな映画ではダメなんです。どれだけ多くの市民を巻き込めるか、まちをあげて制作する市民映画でなければならないので。多くの市民の参加が必要不可欠でした。

・映画制作 記者会見

そして、青年会議所の発信だけでは限界がある中、市民の関心を引くためにも、メディアに取り上げてもらえるようにメディア戦略を展開しました。映画という今までにない、インパクトのある事業ですので、新聞、テレビ、ラジオ、生活情報誌などのメディアに取り上げていただきました。



・協力依頼 協賛活動

新潟県、三条市、燕市、弥彦村の行政を始め、商工会議所、商工会、ロータリークラブ、ライオンズクラブ、テレビ局、ラジオ局、新聞社、アルビレックス新潟など、50の団体や企業から後援をいただきました。また、協賛については本日の会場であります三条信用金庫様やコロナ様、江部松商事様、遠藤商事様などを始め170社からご支援をいただきました。協賛活動や協力依頼活動を行っていた頃は、毎日のように企業や団体に訪問していたことを思い出します。

・出演者、ボランティア募集

出演者募集ですが、核となる主役の4名はプロの俳優さんに依頼しましたが、主役を取り巻くサブキャストについては三条市、燕市、弥彦村の市民から募集しました。

募集チラシを三条市、燕市、弥彦村の小学校、中学校、高等学校に配布と、三條新聞、まるごと県央での広告を出しました。結果、小学生から80歳まで幅広い年代の皆様から148通の応募がありました。また、撮影の手伝いやエキストラ出演など、ボランティアとして協力してもらえる市民を募集しまして、映画の撮影期間中で350人ほどの皆様から協力していただきました。

・出演者オーディション

サブキャストに応募してくれた全員のオーディションを開催し、自己PR、台本セリフ読み上げによる演技審査、質疑を行い、鶴岡監督により選考を行いました。サブキャストに小学生、中学生を多用することで、保護者や親戚、友人知人からの関心が高まり口コミでの注目度向上を狙いました。

・出演者発表 記者会見

そして、出演者が決まった記者会見です。映画という今までにない手法と、市民が主体的に参加することがインパクトを与え、多くのメディアに取り上げていただきました。

・ボランティアワークショップ

ボランティアワークショップと題しまして、ボランティアで撮影のお手伝いをしていただける皆様と撮影のプロとで、ワークショップを開催しました。



・撮影

そして、いよいよ撮影です。この写真は、マルト長谷川工作所さんでの撮影です。左下の女性は、ボランティアで協力していただいた方です。左上のシーンは、燕1000人みこし実行委員会を始め、商工会議所と商工会の青年部、三条エコノミークラブに青年同士のつながりを活かして、150名ほどのエキストラに参加していただき撮影した、クライマックスのシーンです。右の写真はクライマックスのシーンを、新潟日報さんに取り上げていただいた写真。左側は、ポスター制作用の写真です。





マルシェに出店していたら、日本経済新聞に取り上げられたりしました。新聞に載ることで、テレビ出演の依頼がきたり、メディアに取り上げられたり、良い循環ができたのかと思います。



・上映会 舞台挨拶

10月10日に開催した上映会の様子です。舞台挨拶を行うことで、どのような想いで映画「ともに担げば」が制作されたのか伝わり、さらなる市民の関心とメディアの関心を引けたと思います。

三条市の國定市長、燕市の鈴木市長、弥彦村の小林村長を始め、多くの皆様にエキストラとして協力していただきました。小学校からもご協力いただき、学校で撮影することもできました。

先ほどの予告編でも流れましたが、「あいのわ」という主題歌を制作し、三条市、燕市の幼稚園、保育園に配布し、応募をいただいた園で合唱している様子を撮影しました。その動画を編集し主題歌とリンクさせエンディングロールの際に流しました。21の幼稚園、保育園に協力していただき、760名もの園児に合唱していただきました。

・出演者と来場者の感想

燕市も、三条市も発信できる。良い映画だった。都会にいる新潟の人にみせたい。ほっこりした気持ちになった。やっぱり地元は良い。などの、ありがたい感想をいただきました。

・ミニ上映会

ミニ上映会も開催しております。お年寄りの施設や幼稚園、保育園、企業、団体など、お声掛けいただければ映画の上映セットを持参して上映しますので、気兼ねなくお声掛けください。ぜひ皆様の会社や町内会などで上映していただきたいと思っています。



・メディアミックスによる発信

映画の制作そのものだけではなく、市民の関心を引き、映画制作を盛り上げるためにも、広報には力を入れました。UXでは特集を組んでいただきました。また、市長、村長に表敬訪問を行ったりして、話題作りにも力を入れました。

・関わった人数

そして、今までに映画「ともに担げば」に関わっていただいた人数です。協賛していただいた企業は、170社。出演者、エキストラ、ボランティアなど協力いた

いた皆様で1,800人。映画を見ていただいた皆様が記載の通りで、2015年12月現在で合計4,500人ほどの皆様に関わっていただけました。

・事業実施後の展開

事業実施後の展開ですが、これからもミニ上映会を継続して行います。

2017年1月10日現在で30か所のミニ上映会を実施、約700人の皆様より鑑賞していただきました。

また、映画祭への出品を行いました。

大阪アジア映画祭に出品した結果、入選しましたので2016年3月7日、10日に公開されました。この時が世界初上映となりました。

この映画に新たな価値をつけるためにも、今後も映画祭への出品は続けていきます。

市民一人ひとりが手を取り合い、共にまちをつくっていく、協働のまちづくりを推進するためにも、今後多くの皆様に映画「ともに担げば」をみていただくことで、手を取り合うことの大切さ、一歩踏み出すことの大切さを感じていただきたいと思いますので、全国規模の映画祭で県内外に発信し、ミニ上映会で地元の皆様に発信し続けていきます。

・会頭特別賞

結びに、全国697の青年会議所の実施した事業を表彰する、日本青年会議所が主催する「AWARDS JAPAN 2016」で、エントリー数337事業の中から会頭特別賞を受賞しましたことをご報告させていただきます。

会頭特別賞

- ・日本青年会議所主催の「AWARDS JAPAN 2016」で会頭特別賞を受賞
- ・全国697青年会議所
- ・エントリー数 337事業

ご清聴、ありがとうございました。

事業実施後の展開

- ・ミニ上映会
30か所実施 700名
(2017年1月10日現在)
- ・映画祭への挑戦
(大阪アジア映画祭 入選)

次週例会	4月19日	19日(水)→15日(土) 「創立60周年記念式典」 出席振替	
次々週例会	4月26日	「会員卓話」 江部卓城 会員	